



あさお インフォメーション Information

保護者・地域の皆様へ
神奈川県立麻生養護学校
令和2年8月31日発行

8月24日(月)、いつもの年よりも早く夏休みが終わり、児童生徒の元気な声が学校に響き渡りました。夏季休業に入ってからすぐ梅雨が明け、記録的な猛暑の日々でしたが、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら過ごされたことと思います。児童・生徒の安全安心の確保と学びの保障を両立させていくために、学校における感染症予防対策の徹底と、児童生徒や職員等に罹患者が発生した場合の学校における蔓延防止策の徹底を図りながら、日々の授業を行ってまいります。引き続き本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

このような不安が多い日々ですが、本校にご寄付いただいた「禅寺丸柿」はすくすくと成長し、鮮やかな緑色の葉が元気に伸びています。毎日誠実に一生懸命生きていくことの大切さに気付かされ、励まされます。

希望の光を感じ、信じて、児童生徒と禅寺丸柿の成長を見守りたいと思います。

校長 片平弘美

児童生徒たちの活動の様子



分教室の「職業」の授業では「事務サービス」の仕事の一つとして、本校PTAからの依頼を受けて、今年度もベルマークの仕分け作業を行っています。ベルマークの点線に沿って切り取る、点数ごとに分類する、台紙に貼るなど細かい工程を分担し、作業します。大変細かい作業になりますが、集中して自分の仕事にしっかりと取り組むことができました。こ

のようにして整理したものをPTAの方がベルマーク財団へ送ってくださって1点が1円となり、預金されていきます。これにより授業で使う教材などを購入することができています。

(分教室 中村)



A 中学部の「グループ学習」の授業では、作業学習で「石鹼づくり」に取り組んでいます。まずは準備体操として感覚と動作を育む体操(NMBP)を行い、じっくり身体をほぐすことから始まります。作業内容は、石鹼のもとをビニール越しにモミモミ・・・感触も味わいながら作っていきます。石鹼を入れるラッピングには、美術で作った「しみ絵」に「名前スタンプ」を押した綺麗な用紙を入れて、美術とのコラボレーションもしています。ハンドメイドで一生懸命作った石鹼第1号は、それぞれご家庭に持ち帰り、日ごろの感謝の気持ちを込めて保護者にプレゼントしました。作るだけでなく、挨拶や気持ちを伝える学習も含め、みんな真剣に「石鹼づくり」に取り組んでいます。

(A 中学部 本間)



今年は長い梅雨でしたが、アジサイを作ったり、七夕の短冊に願いを込めたりと、この時期ならではの活動に取り組みました。アジサイは、高等部がスポンジを使ったスタンプ、小学部はお花紙を丸めたりちぎったりして貼り付けたコラージュで作成しました。それぞれ一生懸命作成し、とても素敵な作品が完成しました！

(在宅訪問 仲)